

日本レジャー・レクリエーション学会 第25回記念大会の開催にあたって

会長 浅田 隆夫

今日のわが国の社会状況は、円高の進行と産業の空洞化が深刻化しつつあり、このままでは雇用不安と失業率の増大を来し、経済社会は資本主義を崩壊させる方向に進んでいるように思われます。

周知のように、近代資本主義は、地球を掘り起こし環境を悪化させ、より多くの「モノ」と金・土地を求める「モア・アンド・モア」の競争の思想でした。このために、私達は、従来、わが国の社会を支えてきたキャッチアップ型の仕組みを自らの創造性によるパイオニア型の新しい仕組みへと構造転換せざるを得なくなりました。これはまた、供給サイド（企業）の経済から需要サイド（生活者）の経済システムへの変革でもあります。しかし、両者間の相剋とその動向は不透明なまま推移しています。

このように、今日の社会は、いわば、学会草創期の30年前とはまるで違ったパラダイムへとシフトせざるを得ない状況にあります。

まさに、21世紀は、人間の特性（創造性）を活かして「愉しみながら共に生きる」といった世界の創造にあり、その原理は「自然との共育・調和」にあるといえましょう。そして、これを見分けるめやすは、その現象が自然の掟にかなっているか、それによって「もの」が蘇生するか、また、それは環境に溶け込んでいるか・・・といったようなところにあり、それこそが「本もの」の生活だと思えます。「本もの」の生活は、体験的に肌で感得するしかないものでしょう。

L/R生活もまた、これと同じことだと思えます。「本もの」のL/Rがどのようなかたちで日頃の生活文化の中に入り込んでいるのか、また、L/Rを愉しんでいる人達の生活技術は、自己矛盾を生まない自己完結型のものなのか・・・ということです。したがって、できるだけ早く、このような「本もの」のL/R生活の内容や方法、仕組みを個人から仲間へとネットワークにより徐々に普及・拡大していくこと、また、そのためのボランティアの活動に大きな期待が寄せられてもいます。

'90年代後半は、このような意味を持つ生活文化としての「本もの」のL/Rの創造へ志向し得るか否かの分水嶺にさしかかっているといっても過言ではないでしょう。

本大会では、多くの会員の参加を得て、21世紀の新しい生活文化としてのL/Rのあり方・考え方、それに基づく実践を踏まえたアプローチなどについて熱心な対話のうまれることを願って止みません。

大会組織

大会会長 浅田 隆夫 日本レジャー・レクリエーション学会会長

<日本レジャー・レクリエーション学会第25回記念大会実行委員会>

大会実行委員長	油井 正昭	常任理事	千葉大学
副委員長	石井 允	常任理事	立教大学
事務局長	西田 俊夫	理事	淑徳短期大学
会計担当	坂口 正治	常任理事	東洋大学短期大学
本部事務局委員	松浦 三代子	常任理事	東京女子体育大学
企画・委員	松田 義幸	常任理事	実践女子大学
財務・委員	宮下 桂治	常任理事	順天堂大学
委員	杉尾 邦江	常任理事	(株)プレック研究所
委員	寺嶋 善一	常任理事	明治大学
総務・委員	師岡 文男	常任理事	上智大学
編集・委員	芳賀 健治	常任理事	東京家政学院大学
編集・委員	下村 彰男	常任理事	東京大学
本部事務局委員	大森 雅子	幹事	東京女子体育大学
委員	荒井 啓子	幹事	武蔵野短期大学
委員	飯田 明	幹事	東京体育専門学校
委員	梅澤 佳子	幹事	湘南国際短期大学
委員	金子 和正	幹事	東京家政学院大学
委員	杉浦 俊之	幹事	東京体育専門学校
委員	嵯峨 寿	幹事	筑波大学
委員	浪越 一喜	幹事	帝京大学
委員	野村 一路	幹事	日本体育大学

日本レジャー・レクリエーション学会 第25回記念大会開催要領

1. 主催 日本レジャー・レクリエーション学会
2. 主管 日本レジャー・レクリエーション学会第25回記念大会実行委員会
3. 日時 平成7年9月23日(土)・24日(日)
4. 会場 関東学院大学法学部(小田原校地)
〒250 神奈川県小田原市荻窪1162-2
5. 日程
 - 9月22日(金)
 - 17:00~19:00 常任理事会
 - 9月23日(土)
 - 10:00~12:00 理事会
 - 12:00~ 受付
 - 13:00~13:40 記念講演 6-301教室
 - 13:30~14:00 休憩
 - 14:00~15:00 基調講演 6-301教室
 - 15:00~15:20 休憩
 - 15:20~17:20 シンポジウム 6-301教室
 - 18:00~19:30 懇親会
 - 9月24日(日)
 - 9:00~ 受付
 - 9:30~
 - 研究発表の部
 - A会場 6-202 教室
 - B会場 6-101 教室
 - 実践報告の部
 - A会場 6-301 教室
 - B会場 5-103 教室
 - 13:30~14:30 総会
 - 14:30~16:10
 - 研究発表の部 A会場 B会場
 - 実践報告の部 A会場 B会場

参加者へのご案内

1. 受付

9月23日(土) 12:00より受け付け致します。

下記参加費をお支払ください。

正会員・特別会員	4000円
名誉会員・賛助会員	無料
その他一般の方	2000円(1日につき)
資料代	1000円

2. 大会本部

関東学院大学法学部小田原校地

3. 車両の入構について

駐車場は用意してあります。事前に学会事務局に駐車申し込みをして下さい。

4. 休憩と食事

休憩室が用意されています。昼食は、お弁当をご利用ください。

5. 会場内禁煙のお願い

発表会場は禁煙です。喫煙所をお願いします。

(発表者へのお願いとお知らせ)

1. 発表受付

各発表会場の入り口で受付を行います。各自の発表時刻の30分前までに受付をすませ、「次演者席」におつきください。

2. 発表資料

研究発表および実践報告補足資料等については、100部を発表受付時に提出してください。資料には、必ず演題番号（例・A-01, A-02）、演題、演者氏名を明記してください。

3. スライド

スライド映写を希望される方は、発表受付にあるホルダーに、各自で順序正しく正像に写るように挿入して、発表受付にご提出ください。スライドの大きさは35ミリフィルム用の標準マウント（50×50ミリ）に限ります。

4. 発表時間

各発表演題につき、発表15分です。（13分ーベル1回、15分ーベル2回）。
なお、質疑討論は、各発表セッション毎にまとめて行います。（15分または10分、
〈一人当たり5分〉、セッション 終了ーベル3回）

（座長へのお願いとお知らせ）

各発表会場の入口で座長受付を行います。座長時間の30分前までに必ず受付を済ませていただき、開始20分前までに「次座長席」にお座りください。

時間を厳守して進行させるようにご協力ください。

質疑討論は、各セッション毎にまとめて該当時間でとり行うようにお願いします。

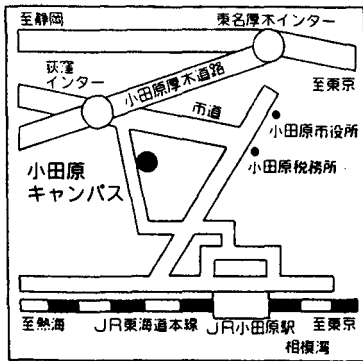
発表取り消しなどで空き時間ができた場合は、討論や休憩にあてられるなど、自由にご裁量下さい。

（討論者・質問者へのお願い）

挙手のあと、座長の合図を待って、所属、氏名を告げたのち、参加者にわかるように発言してください。

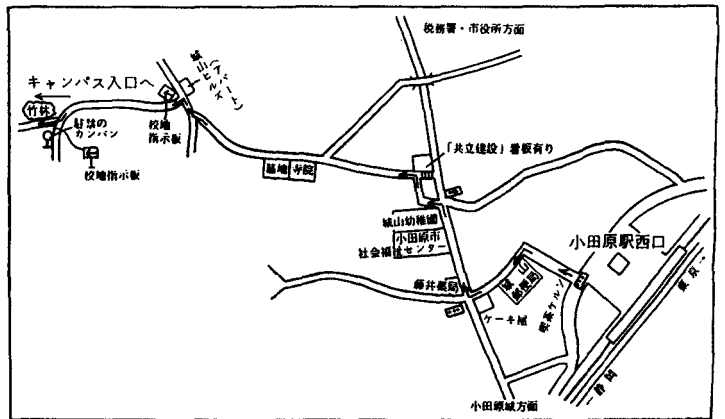
■ 第25回学会大会開催地略図

(関東学院大学小田原校舎)



〈交通機関〉

小田原駅からの徒歩案内図



日本レジャー・レクリエーション学会第25回記念大会

大会本部企画

日時： 第一日目 9/23(土) 午後

□大会テーマ

『新しい時代の創造的余暇』

□ 記念講演 13:00~13:40

「21世紀への提言

これからのレジャー・レクリエーションのあり方を探る」
～若者のレジャーライフを中心に～

浅田 隆夫：日本レジャー・レクリエーション学会会長

□ 基調講演 14:00~15:00

『ボランティアに見る創造的余暇』

福永 佳津子 海外生活カウンセラー

□ シンポジウム 15:20~17:20

『新しいレジャー・レクリエーション時代の生き方』

パネリスト

(1) 『グローバル時代のレジャー・レクリエーション』

原田 宗彦：大阪体育大学教授 学会理事

(2) 『生涯学習社会の到来と新しい時代の余暇のあり方』

松田 義幸：実践女子大学教授 学会常任理事

(3) 『阪神大震災で学んだ若者の新しいボランティア活動』

宮下 桂治：順天堂大学教授 学会常任理事

コーディネーター

芳賀 健治：東京家政学院大学助教授 学会常任理事

日本レジャー・レクリエーション学会第25回記念大会実行委員会

・委員長 油井 正昭 ・副委員長 石井 允 ・大会事務局長 西田 俊夫

・学会事務局 松浦 三代子 大森 雅子

・総務 坂口 正治 節岡 文男 ・研究企画 松田 義幸 下村 彰男

・財務 宮下 桂治 ・編集 芳賀 健治

杉尾 邦江 寺嶋 善一 荒井 啓子 飯田 明 梅澤 佳子 金子 和正

嵯峨 寿 杉浦 俊之 浪越 一喜 野村 一路